

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	A.K	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学年	4年	派遣国	マレーシア
派遣大学	マレーシア科学大学		
期間	2022年 10月 10日～ 2023年 8月 6日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
寮 (赤字)	トイレ	◎/○	シャワー	◎/○	洗面所	◎/○
アパート (青字)	キッチン	×/◎	冷暖房	×/○	冷蔵庫	×/◎
滞在費	約 (4800 (寮) / 17,600 (アパート)) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (8) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	28,800円	朝:RM1, 昼:RM10, 夜:RM20 で計算
学用品購入費 (10月のみ)	37,900円	USM fees, 書籍代 (授業ごとに異なる), 健康診断, 学生証発行費用, USM イベント代
交通費	3500円	Grab 代:RM10~25, バス:RM2
交際費	7000円	
その他 (光熱費・Wi-Fi代)	30,000円・1520円	寮は光熱費・通信費込み、アパートは別途左の金額をルームメイト4人で割り勘

合計 108,720円 (10月)
70,820円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は非常に良いと思います。特にペナン島のジョージタウンは観光地で、23時や0時までカフェやレストランがやっており、人通りも多いため明るいです。学校についても、24時間営業の図書館に行き0時に一人で学校から帰ったり、深夜1時まで友人と学内のベンチでおしゃべりをしたりしましたが、街灯があり、深夜まで残っている研究生が窓から見え、現地生の寮も学内にあるのでひっそりとした感じはありません。USMからジョージタウンまでの行く道（ちょうどUSMとジョージタウンの間にある住宅街）のような地域は少し暗いので、歩かずバスやGrabで移動するのがいいと思います。ペナンは夜まで明るいですが、首都のクアラルンプールは22時ごろにはお店がほとんど閉まってしまい、ペナンと比べ暗く、人の少ない道が多い印象を受けたので、ペナン島から他の地域に出る際は念頭においておくといいと思います。これといって危険地域はありませんが、日本と異なり歩道や信号が整備されていないので、歩く際は交通事故にくれぐれも注意してください。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	（ 11 ）ヶ月間	保険料	（ 136,645 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	不明（Insuranceとだけ記載）		
加入期間	（ 10 ）ヶ月間	保険料	（ RM320/10,180 ）円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **Gelugor** ）

USM の周りの寮や学生が住むアパート（コンドミニアム）は Gelugor に位置する。治安は非常に良く、特に交換留学生在が住むであろう Desasiswa Restu, Saujana, Tekun（USM 寮）や arte S（コンドミニアム）がある方面の近くには Ivory Plaza というレストランのオープンスペース（主にマレー系やアラブ系の食事）やコンビニがあるため、深夜（2時ごろ）でも人が多く、非常に明るい。USM のモスク側の門の周りには中華系のレストランが多く、Lotus's というスーパーマーケットがある。門を出て左側にまっすぐ 10 分ほど進むと、E-park, N-park, Sunny ville といったまた留学生在が多く住むコンドミニアムが見えてくる。こちらの方面はお店が少なく、夜は暗くなる。

George Town から車でおよそ 25 分、バスで約 50 分の距離。また Lotus's の近くにあるバス停（Tesco Sungai Dua）は George Town だけでなく Queensbay Mall という空港近くのショッピングモール方面へのバスが出ている。学生寮の近くにあるバス停（USM）からは Kompleks Bukit Jambul というローカルのショッピングモール方面に行くバスが出ている。基本の移動手段は Grab かバス。George Town 周辺は車道が狭くなっているため歩くことができるが、USM 周辺は歩道がほぼないため、慣れるまで道路の横断が大変。

【学業編】

1. 大学情報

大学	マレーシア科学大学	所在地	Gelugor, Penang Island
最寄空港	ペナン国際空港	空港からの距離	車で 15 分（時間によっては 30 分以上かかる場合あり）
空港⇄大学	（ タクシー or IMCC によるピックアップサービス（車） ） *移動手段		
学生数	約 25,000 人（2023 年現在）	留学生数	約 5,000 人
学部	< Main Campus > School of Languages, Literacies and Translation (SOLLAT) School of Management School of the Art School of Humanities School of Social Sciences School of Communication School of Distance Education（交換留学生在履修不可） School of Educational Studies（交換留学生在履修不可） School of Housing, Building, and Planning School of Biological Sciences School of Chemical Sciences School of Pharmaceutical Sciences School of Physics School of Computer Sciences		

	<p>School of Mathematical Sciences School of Industrial Technology Graduate School of Business</p> <p>< Engineering Campus > School of Mechanical Engineering School of Electrical and Electronic Engineering School of Chemical Engineering School of Civil Engineering School of Aerospace Engineering School of Materials and Mineral Resource Engineering</p> <p>< Health Campus > School of Health Sciences School of Medical Sciences (交換留学生履修不可)</p> <p>*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。</p>
学部/専攻	<p>School of Social Science</p> <p>*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。</p>

2. 週間スケジュール

① (10)月～(2)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Academic English 10:00-12:00		Introduction to Digital Communication 9:00-11:00		Arts Therapy 10:00-12:00
午後	Bahasa Melayu I (マレー語 オンライン) 15:00-17:00	Academic English (オンライン) 14:00-15:00	Introduction to Digital Communication (Tutorial・オンライン) 14:00-15:00	Bahasa Melayu I (マレー語 オンライン) 15:00-17:00	

② (3)月～(7)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Education Training and Human Resource 9:00-10:50 Bahasa Melayu II (マレー語 2) 11:00-13:00	Education Training and Human Resource Tutorial 9:00-10:00	Bahasa Melayu II (マレー語 2) 11:00-13:00		
午後	Bahasa Jepun (日本語クラス) 13:00-13:30 15:00-15:30 (2 クラス 30分ずつ受け持ち)	Work and Life 15:00-16:50	Bahasa Jepun (日本語クラス) 13:00-13:30 15:00-15:30 Work and Life Tutorial 16:00-17:00		

3. 履修内容

科目	Academic English		
履修期間	前期 (2022/10~2023/02)	単位数	2
授業内容／形態	対面 (授業)・オンライン (Tutorial) の形態 英語の 4 技能を伸ばすことを目的としている。それぞれの技能のテストがあり、スピーキングはテスト代わりに教授と生徒の前でのグループディスカッションが課される。授業でその対策や方法を学ぶ。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Bahasa Melayu I		
履修期間	前期 (2022/10~2023/02)	単位数	2
授業内容／形態	オンライン授業 (L&W のテストもオンラインで、R&S のテストは対面) →私が受けた前期はオンラインでしたが、後期は対面になっていました。 マレー語基礎 1。挨拶や数字、時間などの日常で使われる基本的なものから学び、家族、休日など unit ごとのテーマに合わせて語彙や文法を学ぶ。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Introduction to Digital Communication		
履修期間	前期 (2022/10~2023/02)	単位数	3
授業内容／形態	対面 (授業)・オンライン (Tutorial) の形態 入門の授業 (横市でいう共通教養科目) の位置付けで、2 人の講師から、主にネットいじめやネット依存などのネガティブな影響や問題点、その事例とデジタルマーケティングや SNS を用いたプロモーションなどポジティブなネット使用の事例や方法を学ぶ。		
成績	B-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Arts Therapy		
履修期間	前期 (2022/10~2023/02)	単位数	2
授業内容／形態	対面・オンライン両方 絵や踊り、音楽など広義のアートにおける治療としての使われ方について学び、対面授業で実践する。前述の3つについてのスキルは求められないため、誰でも履修可能。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Bahasa Melayu2		
履修期間	後期 (2023/03~07)	単位数	2
授業内容／形態	対面授業（1と異なりテストも全て対面） マレー語基礎2。1の復習から始まり、扱うテーマも1とあまり変わらないが、受動態や接頭辞といった新しい文法を学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	特講（国際教養学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	Education Training and Human Resource		
履修期間	後期 (2023/03~07)	単位数	3
授業内容／形態	対面・オンライン両方 教育と貧困の関係や、国の開発・発展の観点から見る教育のあり方、Society 5.0 下での教育等について学ぶ。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Work and Life		
履修期間	後期 (2023/03~07)	単位数	4
授業内容／形態	対面・オンライン両方 ワークライフバランスを考える上で必要な理論や定義を学び、労働におけるジェンダー格差等の問題点・困難についても学ぶ。ディスカッションでは各国の比較や自分がどのようなキャリアを歩みたいか意見交換する。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Bahasa Jepun IV		
履修期間	後期 (2023/03~07)	単位数	無し
授業内容／形態	対面・オンライン両方 受動態や敬語を含む日本語の文法を学び、会話練習をする。日本語授業のクラスの中では上級レベル。(2 番目、一番高いレベルはビジネス日本語) 授業後半 30 分間の会話練習のボランティアをしました。		
成績	無し		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	A.K.	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	4 年 (5 年)	派遣国	マレーシア
派遣大学	マレーシア科学大学		
期 間	2022 年 10 月 8 日～ 2023 年 8 月 6 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	Academic English (対面&オンライン)
講義内容	英語の 4 技能を伸ばすことを目的としている。それぞれの技能のテストがあり、スピーキングはテスト代わりに教授と生徒の前でのグループディスカッションが課される。授業でその対策や方法を学ぶ。
科目	Bahasa Melayu I
講義内容	マレー語基礎 1。挨拶や数字、時間などの日常で使われる基本的なものから学び、家族、休日など unit ごとのテーマに合わせて語彙や文法を学ぶ。
科目	Introduction to Digital Communication
講義内容	入門の授業（横市でいう共通教養科目）の位置付けで、2 人の講師から、主にネットいじめやネット依存などのネガティブな影響や問題点、その事例とデジタルマーケティングや SNS を用いたプロモーションなどポジティブなネット使用の事例や方法を学ぶ。
科目	Arts Therapy
講義内容	絵や踊り、音楽など広義のアートにおける治療としての使い方について学び、対面授業で実践する。前述の 3 つについてのスキルは求められないため、誰でも履修可能。
科目	Bahasa Melayu2
講義内容	マレー語基礎 2。1 の復習から始まり、扱うテーマも 1 とあまり変わらないが、受動態や接頭辞といった新しい文法を学ぶ。
科目	Education Training and Human Resource
講義内容	教育と貧困の関係や、国の開発・発展の観点から見る教育のあり方、Society 5.0 下での教育等について学ぶ。

科目	Work and Life
講義内容	ワークライフバランスを考える上で必要な理論や定義を学び、労働におけるジェンダー格差等の問題点・困難についても学ぶ。ディスカッションでは各国の比較や自分がどのようなキャリアを歩みたいか意見交換する。
科目	Bahasa Jepun
講義内容	受動態や敬語を含む日本語の文法を学び、会話練習をする。 (授業後半 30 分間で会話練習をするボランティアをしました。)

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

ほぼ1年間のマレーシアでの留学生活を通して、日本では体験できない宗教行事や文化、考え方に触れたことで、マレーシアだけでなく、日本についての新たな知見を得ることができたと思います(というわけで、可能であれば、やはり半期ではなく2セメスターの留学が個人的に断然お勧めです)。

宗教行事に関しては、インド系の新年、中華系の新年、マレー系の新年と、馴染みのある西暦の正月とは異なるニューイヤーを3つも楽しめ、それぞれにその時の食べ物や行いがあり、それをローカルの友人に教えてもらい一緒に体験することが非常に面白く、未知の世界でわくわくしました。他にもブッダの誕生日や、イスラム教のイード、ヒンドゥー教のタイプーサム、もちろんキリスト教徒のクリスマスなどの新年以外の行事や、日常においてもモスクや寺院、教会に行くとお祈りをしている方を見ることができ、マレーシアの人々がどのように宗教と関わり、そしていかにそれが生活に溶け込んでいるかを垣間見ることができます。同時に、日本は“伝統を重んじる”と自負していたり、海外からもそう思われている傾向にありますが、やはり実際は観光資源や象徴、イベントとしての“伝統”が多いと感じました。

また宗教や文化が大きく異なるにも関わらず、歴史的な経緯からか、欧米諸国から全体的に大きな影響を受けていると痛感しました。ハロウィーンやクリスマスといった行事だけではなく、政策や施策など何か海外の事例を見たり、比較したりするときも必ずと言っていいほど欧米を対象にするとします。また日本ではAmazonのサービスが広く浸透していますが、マレーシアでAmazonの文字を見ることは一度もなかったことも面白いなと思いました。マレーシアではShopeeやLazadaといったオンラインショッピングが大手ですし、Netflixはマレーシア版もあり観られるものの、Amazon Primeの動画サービスはありませんでした。またUberもないのも特徴で、日本がどれだけ、とりわけアメリカの影響を受けているかを実感しました。一方で、マレーシアも多くの国から音楽やアニメ、ドラマなどの多様なカルチャーを取り入れており、かつて貿易の中継地として栄え、様々な国との交流があり、文化が混在した国であったことも頷けました。伝統的なものではなく、サブカルチャー的なものでマレーシア独自の文化というものはあまりないのですが、多様な民族が住む国だからこそ、文化的に開かれており、様々な言語や文化が入ってくるのだなと思いました。日本は独自のカルチャーが強いからか、他の留学生やローカルの人と比べ、私を含め海外のカルチャーをあまり知らない人が多いように感じました。

またダイバーシティやLGBTQなど、今日本、そして世界で盛んに議論されている考え方について、マレーシアでは日本や他国とは違った感触を得ました。その人のルーツや宗教は尊重するものの、無理に包摂はしないため、一見民族ごとのコミュニティで、打ち解けられず対立関係にあるように思ってしまうのですが、決してそうではない、世間の風潮や言葉だけに流されることなく、自然とそうになっている、自然とできているという感じでした。セクシュアルマイノリティについては、残念ながらマレーシア政府はイスラム教の法制度の観点から認めておらず、ローカルの人から「LGBTQの描写がある映画はマレーシアでは上映されない」と聞いた時は衝撃でした。しかし、USMにはジェンダーの授業がありますし、口

ーカルの友人も、民族・宗教関係なく皆知識を持っていました。良い悪いや正解か否かはさておき、欧米のムーブメントに影響を受ける日本社会とは全く異なる社会だったと感じ、欧米ばかりを見ずアジアがどうなっているかにも目を向けると、新たな視点を得られたり、日本や今の西洋からの考え方は果たして理にかなっているのかと立ち止まって考える機会にもなりそうだと思います。

最後に、渡航するまでは頭ごなしに「海外はすごい、それに比べて日本は…」思考でした。しかし、様々な国の人と話しているうちに、日本で問題となっていることは同じく海外でも問題になっていることがわかり、どの国もいろいろあると感じ、人類の共通感覚のようなものが見えた気がしました。ただ、それぞれの国が同じような問題に直面しているものの、取り巻く状況は様々なので、そういう意味では各国違います。それを見ずに海外の取り組みをそのまま真似たり称賛するのは違うと考えるようになりました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

この留学で、日本もアジア諸国の一つであるにも関わらず、あまり注目せず知らないことが多かったと感じ、当たり前前に流されず柔軟さを持つためにはもっと視野を広げ、この世界の多くの人やものを見なくてはと思いました。そして今回は主に文化・宗教について学ぶことが多かったため、今後様々な国の方と仕事をする際、その人の持つ文化を尊重する姿勢で一緒にできたらと思います。

また留学中、自分についてとことん向き合ったり、日本にいた頃より日々インプットとアウトプットを繰り返したりしていたのか、自分についての気づきがたくさんありました。自分が何に居心地の良さを感じるか、何に安心するかについてよく知ることができ、逆に無理をして頑張っていた時は疲れが出て体調にも現れたので、自分の好きなこと・気持ちが引き寄せられるものに忠実になって、その感覚をこれからも生きる上で大切にしていきたいと思いました。フランス人のルームメートにはいつも、“頑張りすぎ”と言われ、もっと力を抜いたり、休憩するように言われました。また、私が常に先のことを心配したり何かタスクに追われていると、「いつ何が起こるか分からないから、先のことばかりを見ずに今を楽しんだ方が絶対いい!」と言われることもありました。相手の目に映る自分を客観視するきっかけになりましたし、留学生活を通して、自分がどれだけ恵まれていたか、そして留学というちょっと非日常的な生活の中でも夜遅くまでルームメートとおしゃべりをしたり、ゆったりとした時間を友人と一緒に過ごすなどの至って日常なものの方が心に残っているので、求めすぎずに、今という時間を大切に、今自分の周りにいる人や自分をも大切に生きていきたいと思いました。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

私の話になってしまいますが、留学に行き行って本当によかったと自信を持って言えます。4年生の秋(しかもマレーシアの学期がコロナ禍を経て変更になりまさかの10月)から留学で、元々周りの人と1年遅れることはそこまで心配していなかったのですが、帰国後5年生ということで余分に学費もかかりますし、院に行かないのであれば就職活動も留学中にしなければならぬなどといった懸念点がたくさんあり、やはり渡航前はあれこれ気がかりでした。また実を言うと、「絶対にマレーシアでないと駄目」というわけでもなく、当初は別のプランを考えていたけれどたまたまマレーシアに流れ着いたという感じでした。故に、お金も時間もかけているものの、動機が漠然としたものであったり、当初の行き先とは異なることもあり、自分の選択は良かったのかと弱気になったり、変にプレッシャーを自分に課したりするような状態で渡航の日を迎えました。最初は必死に、「この選択を正解にするんだ」とか「流れに身を任せることも大事だから」と自己暗示をする日々だったと、振り返って思います。しかし、そんなのは杞憂だとあの時の自分に教えたいくらいの、充実した留学生活となりました。想定していなかった道に進む経験が今までなく、且つそういったことに対して切り替えて克服することに苦手意識があったので、初めて“お先真っ暗”を覚えたままで新たなステージに飛び込むことになりましたが、結果何とかはなったように思います。そして何より、マレーシアで見て、感じて、学ぶことがたくさんあり、楽しかったことも色々と思いを悩んだことも含めて自分の宝物の記憶となりました。皆さんも、留学前にすでに悩んだ

り、壁に直面しているかもしれません。どんなに前もって準備をしても、留学中にも絶対に困難があると思います。先が見えないときは特に苦しいかもしれませんが、留学中か留学後にその答え合わせ（しかもいい方向に）が出ると思いますので、力みすぎず、踏ん張るのが辛い時は周りを頼り、悩む時間も大切にしつつ、笑って楽しんでほしいと思います。また私は、特に前期は自分の中にある「せっかくの留学だからこれをしなければならない」という考えに縛られ、押し潰されそうになるというまさに自分で自分を苦しめることをしていたのですが、周りの人がもっと自由に見え、この思考を一旦脇に置いてから本当に心が軽くなり、良い循環が起きたので、リラックスして、あまり自分で自分に課さないことも大事だと思います。渡航当初は色々ときついかもかもしれませんが、どう転んでもいつの間にか楽しんでいましたし意外と何とかなるものなので、心配する気持ちや経験も大事に、でも深く考えすぎる必要はないと感じ他ので、とにかく飛び込んでほしいと思います。

ただ、しっかり目的意識を持った方がいいと思いました。「～しなければならない」「～すべきだ」ではなく、何故自分は留学を志し、何をやりたいと思っていたのか、そして留学前や留学中にそれに向けてどんな行動をしてきたか（しているか）について常に明確にしておく、何か困難があったときに自分がぐらぐらせず、前を向いて歩いていけるのではないかと思います。私はこれが足りておらず、「留学に来た」だけで満足し、こういった中身がなかったために、一時期後ろばかりを振り返っては後悔していました。

また、事前の渡航先の国、大学、生活環境についてのリサーチも大事だと思います。リサーチがあまりできておらず食（特に辛いものが苦手な人）や生活のギャップに苦しむ人が周りに何人かいたので、在ペナンの日本の方の SNS やブログなどから様々な情報をさらっと見ておくだけでも違うと思います。またペナンは観光地、かつ他の国に旅行しやすい立地、そしてリーズナブルな物価ということもあり、留学生のペナンに来た理由は様々です。特に旅行目的で留学に来た人とは遊び方や考え方が合わず、当初、そのギャップが少し苦しかったのですが、必ずどこかで様々なご縁に巡り合えると思うので、焦らないでほしいと思います。

長くなってしまいましたが、お読みくださりありがとうございました。力を抜いて、楽しんで様々なことに果敢に挑んでいってください。応援しています。